

区政会議委員より事前にいただいたご意見やご質問

戦略3-1 地域コミュニティの活性化促進

区役所が地域運営支援のために 3,000 万円以上の予算を組んでいるのは、地域コミュニティ活性化の重要性を認識しているからだと思います。

一方で、地域活動協議会の核となる町会では、自律的な防災・防犯活動等の取組に不可欠な町会長等の諸役員の成り手がおらず、後継者が育っていない状況であり、これは地域コミュニティが崩壊していることを意味し、区政の見直しが必要でありますし、そもそも区役所が現状を把握していないのであれば大きな問題だと思います。

団塊世代が町会を運営していた時代ではないという認識を持たず、これまでと同じやり方で区政を行うことには反対です。(山崎収一委員)

具体的取組3-1-2 スポーツ・文化等によるコミュニティの育成

スポーツフェスティバルについて、地域コミュニティの活性化を図るには、校下一丸となる校下対抗が良いと思いますが、現状では人集めが難しい状況となっています。

特定の人だけでなく、誰が行っても、その日、そこに行けば何らかのスポーツや体力測定ができ、一人でも多くの方に来て楽しんでもらえるような催しになってほしいです。(鎌田委員)

戦略3-2 地域資源を活用したまちの魅力づくり

- ・城北菖蒲園は大型バスなどの駐車スペースがないため、観光コースになりにくいのではないのでしょうか。
- ・旭区ブランドとして干林商店街をあげるべきだと思います。(種野委員)

戦略4-1 地域コミュニティの強さを活かした自助・共助によるまちづくり

・防災リーダーに関して、各地域に必要な人数や実際の充足・習熟具合、年齢構成はどのような状況にあるのでしょうか。また、防災リーダーの育成や訓練などに関して、消防署、区役所、町会のどこが主体となって取り組んでいくこととなるのでしょうか。

・避難所運営に関して、現在の地域の関係者が高齢であることや習熟が十分でないことなど、体制として脆弱なため、避難者を受け入れるのは現実的に難しいと思います。施設では物資の配付などにとどめ、在宅避難を基本とするなどの対応を考えざるを得ない状況もあるのではないのでしょうか。

・福祉避難所の運営に関する取組の進捗はどのような状況でしょうか。また、障がい者の避難に関して、その支援者にかかるマンパワーの問題があると思いますが、区役所はどのように課題を認識し、何か対応はされているのでしょうか。(種野委員)

戦略4-2 地域防犯力の強化

・地域防犯力の強化にはパトロールが重要だと考えますが、現在の警察のパトロールに関する認識や取組状況がわかれば教えてほしいです。

・特殊詐欺への対応に関して、最近は ATM 以外に自宅訪問型も多いと聞きますが、地域の年配者との接点を増やすという意味でも例えば民生委員と連携するなどの方策は考えられないのでしょうか。(種野委員)

その他(全般)

区役所が行っているよりよい事業を一人でも多くの方が知れるよう、私たちも努力しなければと思いますし、区役所も「こんな事業をやっています。やりました。」などの“お役所仕事”とするのではなく、実際に区民の皆さんに活用してもらえるよう頑張っていたきたいと思います。(鎌田委員)